

2020年7月21日

ベートーヴェン生誕 250 周年のメモリアルイヤーに、2つの特別なデザインモデルが登場
ベーゼンドルファー グランドピアノ
『ベートーヴェン生誕 250 周年記念モデル』 『セセッション』

株式会社ヤマハミュージックジャパン（注 1）は、ヤマハ株式会社の 100%子会社である L. Bösendorfer Klavierfabrik GmbH（注 2、以下ベーゼンドルファー）のグランドピアノの限定モデルとして、『ベートーヴェン生誕 250 周年記念モデル』と『セセッション』を7月 25 日（土）より発売します。




『ベートーヴェン生誕 250 周年記念モデル』



『セセッション』

2020 年は、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン（1770 年～1827 年）の生誕 250 年にあたる節目の年です。1770 年にドイツ・ボンで生まれたベートーヴェンは、1827 年にその生涯を終えるまでの約 35 年間でウィーンで過ごし、ほとんどの作品をその地で作曲しました。一方、1828 年にウィーンで設立されたベーゼンドルファーは、ベートーヴェンの影響を色濃く受けたウィーン文化の中で歴史を紡いできました。

そのベーゼンドルファーがベートーヴェンのメモリアルイヤーに発売する記念モデルが、『ベートーヴェン生誕 250 周年記念モデル』です。「ピアノ・ソナタ第 14 番『月光』Op. 27-2 嬰ハ短調」第 3 楽章の自筆譜がピアノの大屋根の内側に施されているほか、ベートーヴェンの似顔絵や名言が、美しく煌めくマザー・オブ・パール（真珠層）の装飾で施されています。1 台 1 台に特別なシリアルナンバー入りの真鍮プレートが嵌め込まれた、全世界 15 台限定の特別なモデルです。

一方『セセッション』は、19 世紀末のウィーンに登場した新進気鋭の総合芸術運動「セセッション（分離派様式）」と、分離派アーティストの展示施設として設立された同名の建築物「セセッション（分離派会館）」からインスピレーションを受けてデザインされたモデルです。グランドピアノの大屋根の内側の装飾や、ボディの内側を彩る繊細なグリーンは、分離派会館のシンボルである月桂樹の葉がモチーフになっています。また、いたるところに 23K 金メッキが施され、譜面台には分離派のモットー“聖なる春（Ver Sacrum）”の文字が彫り込まれています。分離派は、1902 年にベートーヴェンをテーマにした展覧会を分離派会館で開催し、権威に捉われないベートーヴェンの創作姿勢に共鳴を示していました。ベートーヴェンの精神性に通じる分離派の総合芸術へのオマージュであるグランドピアノ『セセッション』を、ベートーヴェンイヤーに相応しい特別なモデルとして全世界 21 台限定で発売します。

品名	モデル	ベース	カラー	価格（税抜）	発売日
ベーゼンドルファー グランドピアノ	ベートーヴェン 生誕 250 周年記念モデル	Model 200	黒	20,000,000 円	7 月 25 日（土）
		Model 200	白	21,000,000 円	
		Model 214VC	黒	22,000,000 円	
		Model 214VC	白	23,000,000 円	
	セセッション	Model 214VC	—	22,000,000 円	

※工場の状況によって納期は変化します。詳しくはお問い合わせください。

■ 一般の方のお問い合わせ先：

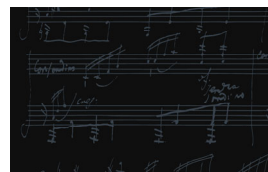
株式会社ヤマハミュージックジャパン ベーゼンドルファー・ジャパン

Tel. 03-6681-5189

<『ベートーヴェン生誕 250 周年記念モデル』主な特長>

1. 「ピアノ・ソナタ第 14 番『月光』Op. 27-2 嬰ハ短調」の自筆譜

ベートーヴェン・ハウス・ボン協会の協力を得て、「ピアノ・ソナタ第 14 番『月光』Op. 27-2 嬰ハ短調」の第 3 楽章〈プレスト・アジタート〉の自筆譜を、高精度なシルクスクリーン印刷技術を使ってピアノの大屋根の内側に施しました。



2. 煌めくマザー・オブ・パール（真珠層）の象嵌によるベートーヴェンの似顔絵や名言の装飾

美しく光り輝くマザー・オブ・パール（真珠層）の象嵌によって、譜面台にベートーヴェンの似顔絵が描かれているほか、譜面台の右側部分には「Music is a higher revelation than all wisdom and philosophy.（音楽はあらゆる知恵や哲学よりも高度な啓示である）」というベートーヴェンの名言が施されています。またピアノの側面や鍵盤蓋に記された“Bösendorfer”のロゴも、マザー・オブ・パール（真珠層）の象嵌で仕上げられています。



3. シリアルナンバー入りの真鍮プレート

鍵盤左側の拍子木部分には、シリアルナンバーが刻印された真鍮のプレートがはめ込まれ、記念モデルに相応しい特別感を演出します。



4. オーストリアの職人により丁寧に作り込まれたピアノ

『ベートーヴェン生誕 250 周年記念モデル』のベースとなるグランドピアノは、伝統的な“ウィナー・トーン”を楽しめる人気モデル「Model 200」と、ベーゼンドルファーらしいあたたかさとともに華やかな音色も備え世界的に評価の高い「Model 214VC」の 2 種類から選んでいただけます。いずれも、すべてのチューニングピンに 1 本ずつ独立して弦を張る「総 1 本張り」の手法によって音程の安定性を高めているほか、低音部の弦に手巻きの巻き線を採用し、響板を含め楽器全体の 85%以上に高品質なスプルース材を使用。オーストリアの熟練した職人の手作業で時間をかけて丁寧に作り込むことで、ベーゼンドルファーならではの豊かな響きを生み出します。

<『セセッション』主な特長>

1. 分離派会館のシンボルである月桂樹の葉を取り入れたデザイン

ウィーンのアール・ヌーヴォーを代表する建築物である分離派会館は、月桂樹の葉をモチーフにした透かし彫りによる象徴的な半円ドームを持ち、建物正面のファサードにも月桂樹の葉のデザインパターンが描かれています。グランドピアノ『セセッション』では、ファサードから取り入れた月桂樹の葉のデザインを大屋根の内側に施し、23K 金メッキによって再現しました。



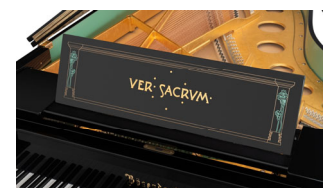
2. 随所に施された壮麗な 23K 金メッキと繊細なグリーンで「セセッション」の世界観を再現

大屋根だけでなく、脚柱、ペダルボックス、フレームなど随所に 23K 金メッキが施され、大屋根のデザインの輝きを引き立てています。また、分離派会館の半円ドームの月桂樹の葉に着想を得た繊細なグリーンでボディの内側などを彩りました。華やかな金色と柔らかなグリーンの組み合わせにより、「セセッション」の世界観を表現しています。



3. 譜面台に彫り込まれた分離派のモットー “Ver Sacrum (聖なる春)”

分離派のモットーである “Ver Sacrum” (聖なる春) が譜面台に一文字ずつ刻まれ、23K 金メッキが施されています。



4. 楽器としての機能とデザイン、クラフトマンシップが融合した総合芸術作品

『セセッション』のベースとなるグランドピアノは、ベーゼンドルファーらしい“ウィナートーン”のキャラクターは保ちつつ、煌びやかな音色と、遠くまで届く力強い音、幅広いダイナミックレンジを備える「Model 214VC」です。高品質なスプルース材をふんだんに使用し、ベーゼンドルファー伝統のピアノづくりの手法に従って、オーストリアの熟練した職人の手で丁寧に作り込まれています。

グランドピアノ『セセッション』は、デザインとピアノづくりのクラフトマンシップが一体となった“総合芸術作品”と言えます。

● 『セセッション』イメージ動画

<https://www.youtube.com/watch?v=j3uigSunWTA&feature=youtu.be>

<製品仕様>

ベース	Model 200	Model 214VC
寸法 (奥行×間口×高さ)	200 × 151 × 102 (cm)	214 × 151 × 102 (cm)
鍵盤数	88 鍵	
ペダル	3 本 (ソステヌートペダル付)	
付属品	高低自在椅子	

製品サイト

- 『ベートーヴェン生誕 250 周年記念モデル』
<https://www.boesendorfer.com/ja/pianos/collectors-item/beethoven>
- 『セセッション』
<https://www.boesendorfer.com/ja/pianos/collectors-item/secession>

<注>

1) 株式会社ヤマハミュージックジャパン

日本国内における楽器・音響機器の卸販売および教室事業を行うヤマハ株式会社の100%子会社。
本社：東京都港区。

2) L. Bösendorfer Klavierfabrik GmbH (ベーゼンドルファー社)

プレミアムピアノの製造・販売を行うヤマハ株式会社の100%子会社。1828年にウィーンで設立。
本社：オーストリア ウィーナー・ノイシュタット。

<ご参考>

ベーゼンドルファーピアノについて

ベーゼンドルファーピアノはリスト、ブラームス、ヨハン・シュトラウス、ブゾーニなど、数多くの偉大な作曲家や演奏家に愛され続けてきました。ベーゼンドルファー社は1828年にウィーンの職人イグナツ・ベーゼンドルファーによって設立され、1839年にはオーストリア皇帝から初めて「宮廷及び会議所ご用達のピアノ製造業者」の称号を授けられました。創業当時オーストリアには200を超えるピアノ製作会社があったと言われていましたが、ベーゼンドルファーのみが今もなおピアノをつくり続けています。その長い歴史の中で音楽家たちの様々な意見や要望に応え続け、「ウィナートーン」と呼ばれる独特な美しさを持つ響きの個性を磨き上げてきました。

ベーゼンドルファーは伝統的なピアノづくりの手法に従い、創業から今日まで累計約51,000台を製作、現在は年間約300台のペースで製作しています。一台一台魂を込め、オーストリアの職人たちの手で長い時間をかけて製作することにより、演奏者と聴衆の心を惹きつける深い響きと多彩な表現力を生み出し、特別な存在感を実現しています。

- ベーゼンドルファー製品サイト <https://www.boesendorfer.com/ja/>



* 文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

* 掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：橋本

TEL. 03-5488-6605

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/ (取材申し込みや広報資料請求が可能です)

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン ベーゼンドルファー・ジャパン

TEL. 03-6681-5189
